普通会計決算 財政収支・財政指標の推移

(単位:千円、%)

								(5	<u> 単位:干円、%)</u>	
区分	平成18年度	双式4.0年度			平成20年度		平成21年度		双式2.2年度	
	十八八〇十段	増減率等	平成19年度	増減率等	平成20年度	増減率等	平成21年度 增 》	増減率等	平成22年度	增減率等
歳 入 総 額 (A	30,271,901	4.4	30,495,732	0.7	30,767,674	0.9	35,952,377	16.9	33,814,691	5.9
歳 出 総 額 (B)	29,730,726	3.9	30,006,356	0.9	29,942,105	0.2	34,956,333	16.7	32,930,045	5.8
歳入歳出差引額(A)-(B)(C	541,175	27.2	489,376	9.6	825,569	68.7	996,044	20.6	884,646	11.2
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	129,418	58.9	46,345	64.2	300,144	547.6	258,622	13.8	109,083	57.8
実 質 収 支 (C)-(D) (E)	411,757	3.8	443,031	7.6	525,425	18.6	737,422	40.3	775,563	5.2
単 年 度 収 支 (F)	16,208	90.1	31,274	293.0	82,394	163.5	211,997	157.3	38,141	82.0
積 立 金 (G	2,882	98.8	6,092	111.4	3,783	37.9	500,995	13,143.3	350,714	30.0
繰 上 償 還 金 (H	699	98.6	38,160	5,359.2	15,208	60.1	36,583	140.6	0	100.0
積 立 金 取 崩 し 額 (口)	0	0.0	140,000	100.0	690,000	392.9	0	100.0	0	100.0
実質単年度収支(F+G+H-I)(J	12,627	109.3	64,474	410.6	588,615	812.9	749,575	227.3	388,855	48.1
基準財政収入額(K	5,649,615	5.0	5,709,134	1.1	5,654,580	1.0	5,420,797	4.1	5,172,474	4.6
基準財政需要額(L)	14,696,961	1.3	14,383,913	2.1	14,615,543	1.6	14,706,640	0.6	14,940,963	1.6
標準財政規模(M	18,657,898	0.9	18,393,206	1.4	18,745,741	1.9	18,707,612	0.2	20,926,509	11.9
臨時財政対策債発行可能額 (N	1,023,440	10.8	928,512	9.3	869,693	6.3	1,349,777	55.2	1,868,587	38.4
実 質 収 支 比 率 (E)/(M) (O	2.2	0.1	2.3	0.1	2.7	0.4	3.7	1.0	3.7	0.0
経 常 収 支 比 率 (P)	94.5	0.4	96.1	1.6	95.1	1.0	92.5	2.6	89.7	2.8
財 政 力 指 数 (K)/(L) (Q	0.384	0.013	0.397	0.013	0.387	0.010	0.369	0.018	0.346	0.023
3 ヵ年平均	0.376	0.018	0.384	0.008	0.389	0.005	0.384	0.005	0.367	0.017
公 債 費 比 率 (R)	20.1	0.9	18.6	1.5	18.7	0.1	16.7	2.0	15.2	1.5
起 債 制 限 比 率 (S	15.0	1.2	13.3	1.7	13.9	0.6	12.4	1.5	11.2	1.2
3 ヵ年平均	14.0	0.7	14.1	0.1	14.1	0.0	13.2	0.9	12.5	0.7
実 質 公 債 費 比 率 (T	(18.7) 18.64907	0.69156	(16.6) 16.81148	1.83759	(16.6) 16.95976	0.14828	(15.9) 16.23290	0.72686	15.28485	0.94805
3 ヵ年平均	(17.9) 17.8	0.6	(17.7) 17.8	0.0	(17.3) 17.4	0.4	(16.5) 16.6	0.8	16.1	0.5

経常収支比率は、「減税補てん債」及び「臨時財政対策債」を経常一般財源として算出。

資料:地方財政状況調査

平成22年度の標準財政規模は、臨時財政対策債発行可能額が含まれている。(制度変更による)

平成21年度までの「公債費比率」、「起債制限比率」及び「実質公債費比率」を算出する際は、分母に「臨時財政対策債発行可能額」を加算し算出。

増減率等は、小数点以下第2位未満四捨五入としているが、「実質収支比率」以下は前年度との差し引き数値

実質公債費比率については、算定方法の見直し等により変更となったため前年度決算数値を()書きで表記している。

平成19年度から平成21年度までの実質収支比率は、標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を含めて算出